

クロアチア情勢

主な出来事

2017年11月

内政

- 3日、メシッチ元大統領は、アグロコル調査委に最初の証人として出席し、アグロコル社の関与が問われている旧国営企業の民営化プロセスに関して発言。
- 3日、ザグレブ市のクロアチア科学芸術アカデミー(HAZU)において、「国際ロマ語デー」が開催され、ヤンドロコビッチ議会議長、ムルガニッチ人口・家族・青年・社会政策相らが出席。
- 7日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、第3回目の祖国と海外のクロアチア人のビジネス連携に関する会合に出席。
- 8日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、オパティヤにおいて、クロアチア経済連盟が主催した第25回会合「2018年のクロアチアの経済政策」に出席。
- 11日、SDPは、アグロコル問題への対応に関する問題を理由に、プレンコビッチ政権に対する不信任決議を要求するも、反対多数で否決。
- 11日、人民党(HNS)中央委員会は、12月に開催予定の党大会において、ブルドリャク前HNS党首を再び党首とする決議案を決定。
- 15日、プレンコビッチ首相とペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、セルビアに居住するクロアチア系住民の代表団と会談。
- 15日、グレグリッチ元首相は、アグロコル調査委に証人として出席し、アグロコル社に係る旧国営企業の民営化プロセスに関して発言。
- 18日、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相、ヤンドロコビッチ議会議長は、26周年を迎えたブコバル市紛争犠牲者追悼式典に出席。また、プレンコビッチ首相は、ブコバルにおいて閣議を開催。
- 22日、グラバル＝キタロビッチ大統領とプレンコビッチ首相は、旧ユーゴスラビア国際刑事裁判所(ICTY)においてムラディッチ被告に有罪判決が下されたことに関して、判決は概ね妥当であるものの、セルビアの関与やクロアチア国内における犯罪について触れられなかったことは残念であると発言。
- 22日、アグロコル調査委の連立与党議員5名はアグロコル問題に関する裁判所による司法捜査が開始したことを受け、関係法に基づき同委員会活動を停止したという声明を発表。
- 24日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ザグレブにおいて、クロアチア遺産基金(HMI)が主催した第23回クロアチア少数民族フォーラムに出席。

●25日、フォルトウナ・クロアチア世代間の連帯党(SMSH)党首とバルダSMSH党員は、バンディッチ・ザグレブ市長が党首を務めるバンディッチ・ミラン365(BM365)へ移籍。それぞれBM365の新副党首として選出され、SMSHは解散。

●29日、ハーグにおいて、「ヘルツェグ・ボスナ・クロアチア人共和国(HRHB)」の元幹部6名に対する、旧ユーゴ国際刑事裁判所(ICTY)による最終判決が下され、6名は有罪が確定。これに関して、クロアチア政府は、同判決が戦争犯罪にクロアチア政府が関与していると認めたことは不当であるとの声明を発表。なお、公判中に服毒しプラリャク被告は、直ちにハーグ市内の病院に搬送されるも死去。

●30日、議会は、「祖国防衛戦争」時の退役軍人及びその家族の権利に関する退役軍人法案を可決。

外交

●4日、オブリエン＝コルジネク文化相は、パリにおいて、第39回ユネスコ総会に出席。

●6日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、クロアチアを訪問中のオスマニ・マケドニア欧州統合担当副首相と会談。

●6日、米政府は、クロアチア国防軍に150万米ドル相当の装備を寄贈。

●8日、クルスティチェビッチ副首相兼国防相は、ブリュッセルにおいて、NATO国防相会合に出席。マティス米国防長官及びフォン・デア・ライエン独国防相と会談。

●9日、プレンコビッチ首相とグラバル＝キタロビッチ大統領は、ザグレブを訪問中のライモンディ欧州人権裁判所長官と会談。

●10日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ブリュッセルにおいて、貿易に関するEU外相会合に出席。

●13日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ブリュッセルにおいて、EU外相会合に出席。同外相とクルスティチェビッチ副首相兼国防相は、常設構造的協力(PESCO)に関する共同通達に署名。

●13日、トルシッチ農業相は、クロアチアを訪問中のアリエル・イスラエル農業・農村開発相と会談し、農業分野での協力に関する二国間合意に署名。

●16－17日、プレンコビッチ首相は、スウェーデンを訪問し、16日にロヴェーン・スウェーデン首相と会談し、17日にEU社会サミットに出席。

●17日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、アルバニアにおいて、ブシャティ・アルバニア外相、ダルマノビッチ・モンテネグロ外相との3カ国外相会談(第2回アドリア海3カ国イニシアティブ外相会合)に出席。

●20日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、EU総務理事会に出席し、ザグレブの欧州医薬品庁移設先の立候補を取り下げた旨表明。また、アブラモポロス欧州委員会移民・難民担当委員らと会談。

●21日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ブリュッセルにおいて、ベラ欧州委員会海事・漁業担当委員と会談。

- 21日、クルスティチェビッチ副首相兼国防相は、クロアチア訪問中のシェケリンスカ＝ヤンコフスカ・マケドニア国防相と会談。
- 22日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ザグレブにおいて開催された「西バルカン諸国におけるNATO拡大」の国際会合に出席。
- 23－24日、プレンコビッチ首相とペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ブリュッセルにおいて、EU東方パートナーシップ会合に出席。ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、モゲリーニEU上級代表と会談。
- 24日、欧州オリンピック委員会代表らは、グラバル＝キタロビッチ大統領を表敬訪問。
- 27日、ユンカー欧州委員長は、ティーマンス欧州委筆頭副委員長に対し、クロアチア・スロベニア国境画定問題に関して、クロアチア・スロベニアを支援するよう指示。
- 27－28日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、レイキャビクにおいて開催された世界の女性指導者会合に出席。
- 27－28日、プレンコビッチ首相は、ブダペストを訪問。27日、中東欧諸国と中国との第6回「16＋1」首脳会合に出席し、李克強・中国国务院総理と会談、また、28日にオルバーン・ハンガリー首相と会談。
- 28日、カタルーニャ州議会により一方的に独立宣言が採択されたことに関し、プレンコビッチ首相は、対話による解決を望む旨発言。外務・欧州問題省は、カタルーニャ州独立宣言がスペイン憲法に基づいておらず、法の支配、対話に基づく解決策が最善である旨声明を発表。
- 30日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、コートジボワールにおいて、第5回アフリカ連盟・EU会合に出席。シュクリ・エジプト外相らと会談。

経済

- 3日、ザグレブ証券取引所は、アグロコル・グループの一部企業の株取引について、5月15日の停止措置以来、約6か月ぶりに再開する旨発表。
- 6日、欧州投資銀行とクロアチア復興開発銀行は、中小企業の起業及び若年雇用の促進に係る2.5億ユーロの融資枠に関する契約に調印。両行は、当該支援に係る総額8億ユーロの融資について既に合意しており、今回の契約はその第1弾の措置。
- 6日、クロアチア統計庁は、R&D投資に係る統計を公表。2016年のR&D投資額は29億クーナとなり、うち13億クーナ(全体の44.8%)は企業部門、6.4億クーナは政府部門及び民間非営利部門による。また、投資額の63.4%は研究開発に係る人件費に支出。
- 7日、トドリッチ・アグロコル・グループ元CEOがロンドンで逮捕。
- 8日、チョリッチ環境保護・エネルギー相は、同省と財務省により、今後2週間以内に、INAの企業価値の評価とMOLが保有するINA株買収の判断及びINAに対する新たな潜在的な戦略パートナーの選定について、クロアチア政府に助言を行うコンサルタントを採用するための一般競争入札を実施することを発表。
- 9日、ザグレブ商業裁判所は、アグロコル・グループの負債総額が412.3億クーナであることを公表。

- 9日、欧州委員会は、2017年秋季の経済見通しを公表。
- 16日、マリッチ財務相は、償還期間12年、利回り2.95%、表面利率2.75%とする12.75億ユーロの国債の発行について海外の投資家と合意。高速道路の整備に係る債務の借替え措置。
- 17日、マリッチ財務相とプトコビッチ海事・交通・インフラ相は、高速道路セクターの再構築計画を発表。前日のユーロ債の発行に加え、国内の金融機関を対象として、同セクターが保有する25～30億ユーロの債務の借換えを図る意向。また、通行料金の一部引上げ、セクター内企業の統合も実施する予定。
- 21日、クロアチア政府とスロベニア政府は、両国で共同保有するクルシュコ原子力発電所から排出される低中レベル放射性廃棄物の処分について、来年5月までに対応策を提示するためのタスクフォースを設置することで合意。
- 22日、クロアチア統計庁は、10月の失業率を公表。失業率は11.6%と、前月の10.8%から上昇。
- 27日、INAは、リエカの石油精製施設の近代化事業(重質油分解装置、コークス貯蔵施設、製品加工施設、パイプライン建設等)について、入札手続きを開始したことを公表。請負業者の選定は2018年夏頃を予定。
- 29日、クロアチア統計庁は、四半期別経済成長率を公表。2017年7～9月期のGDP成長率は前年比3.3%増となり、12四半期連続のプラス成長。4～6月期(同2.8%増)よりも伸びが加速。
- 30日、クロアチア議会は、2018年の一般政府予算と経済見通しを承認。歳入は1,290億クーナ(前年比6.1%増)、歳出は1,333億クーナ(同3.9%増)。また、2018年の経済成長率は+2.9%とされ、財政赤字は対GDP比0.5%となる見通し。

主要経済指標

(2017年月次データ、政府統計局発表)

輸出総額(9月)	輸入総額(9月)	貿易赤字(9月)	工業生産高(10月) 対前年同月比	インフレ率(10月) 対前年同月比	失業率(登録制)(10月)
757 億クーナ 102 億ユーロ (+13.7%)	1,222 億クーナ 164 億ユーロ (+11.4%)	466 億クーナ 63 億ユーロ (+7.8%)	+4.3% (9月:+3.0%)	+1.4% (9月:+1.4%)	11.6% (9月:10.8%)

※輸出総額、輸入総額、貿易赤字の括弧内の数字は、対前年同月比。

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたもので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。